

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

令和5年6月

那須塩原市議会定例会議

【質 問 者】

【令和5年6月1日（木）】

- | | | | | |
|---|--------|------------------|-------|----|
| 1 | 10:00～ | 公明クラブ
議席番号 6番 | 田村 正宏 | 議員 |
| 2 | 11:25～ | 志絆の会
議席番号 19番 | 鈴木 伸彦 | 議員 |
| 3 | 13:50～ | 敬清会
議席番号 18番 | 大野 恭男 | 議員 |

受付番号	令和5年5月19日
第1号	午前 8時30分受付 午後

令和 5年 5月 19日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

会派名 公明クラブ

議席番号 6番 田村 正宏

会派代表質問通告書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 「県北拠点づくり」について	折しも、渡辺市政二期目のスタートに合わせるかのように新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが5類へと緩和され、ニューノーマルな時代が始まりました。様々なそして新たな行政課題が顕在化する中で掲げられた市政運営の重点推進テーマの一つである「県北拠点づくり」が、これからの那須塩原市そして那須塩原市民にとってより有益なものとなることに期待して以下について伺います。
	(1) 今までに実施された都市再生整備計画事業について
	①塩原温泉地区の事業内容と効果について
	②西那須野駅西地区の事業内容と効果について
	③黒磯駅周辺地区の事業内容と効果について
	(2) 那須塩原駅周辺まちづくりについて
	①想定事業期間及び想定エリアについて
	②想定総事業費及び利用可能な国の補助メニューについて
	③財源確保方針について
	(3) 立地適正化計画との連携について
	(4) 栃木県の取り組みである「分散型社会構築」との連携について

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	て
	(5) 官民連携による民間活力の導入について
2. 多死社会到来を見据えた	「ひとり死」の増加や遺族の高齢化により「死後を遺族が担う」
行政サービスの拡充について	という伝統は崩れ始めています。「地域で安心して死ぬる」ために
	果たす自治体の役割はとて重要なことから以下について伺い
	ます。
	(1) 死亡後の手続きの簡素化について
	(2) 火葬場の現状と課題及び今後の整備について
	(3) 公営墓地の現状と課題及び今後の整備について
	(4) 終活支援について
	(5) 所有者不明土地解消に向けた不動産登記制度見直しへの対応
	について

受付番号	令和5年5月22日
第3号	午前 11時57分受付 午後

令和 5年 5月22日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

会派名 志 絆 の 会

議席番号 19番 鈴木伸彦

会派代表質問通告書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 2期目の課題と抱負について	<p>市長は、任期満了に伴って4月16日に告示された那須塩原市長選挙に立候補し、無投票で2回目の当選を果たされました。初当選された4年前と比べると、コロナ、ウクライナ問題、円安、物価上昇など社会に大きな変化が生じております。しかし、変わらないのが人口減少、少子高齢化問題であります。市長は4年間で本市の実情をよく理解されていると思います。</p> <p>そこで、初登庁後の記者会見、当選後の市長定例記者会見、5月那須塩原市議会臨時会議における市長挨拶で語ったキーワード「持続可能なまちづくり」、「生き延びられるまち」を踏まえ、改めて本市の課題とこれからの抱負について伺います。</p> <p>(1) 2期目の重点施策に那須塩原駅周辺整備を掲げて「市民や民間企業が参加する協議会を立ち上げる。時間のかかる大きなプロジェクトになるが、二期目のうちに基本的な構想は形にしたい」と話しているが具体的内容について伺う。</p> <p>(2) デジタル化や脱炭素化社会実現への取組は引き続き力を入れるとお考えであるが、4年間でどう変わるのかどのように実現しようと考えているか伺う。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3) 那須塩原のブランド化「那須塩原ライフ」についての取組
	や考えについて伺う。
	(4) コロナ後の問題として、自粛続きによる子供たちの現状認
	識と課題、取組について伺う。
	(5) 高齢者の体力低下や高齢者のフレイルなどの現状認識と課
	題、取組について伺う。
	(6) 人口減少、少子高齢化の進行が予想される中で、道路整備
	や修繕、高齢者の移動手段確保(ゆーバス・デマンドタクシー等)、
	高齢者の一人暮らしの見守り及び農業の後継者問題など、市民の
	日々の暮らしについての現状認識と課題、4年間の任期の中でそ
	れらとどのように取り組んでどのような成果を目指していくのか
	伺う。

受付番号	令和5年5月19日
第2号	午前 3時38分受付 午後

令和 5年 5月 19日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

会派名 敬清会

議席番号 18番 大野恭男

会派代表質問通告書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. コロナ後の市政運営について	<p>渡辺美知太郎市長におかれましては、1期目の4年間は、新型コロナウイルス感染症対応において、大変なご苦勞があったかと思いますが、市職員、関係機関等と協力し全力で市政運営に取り組まれてこられました。</p> <p>このような中、令和5年4月の那須塩原市長選挙において2期目の当選を果たされました。選挙時に、ともにつろう「コロナ後の那須塩原市」の基本施策として、地域の強みを活かし「那須塩原をブランド化」、災害に強く資源、経済が循環する「住み続けたいまち」、環境、DX等、最先端の政策により「地方分散の受け皿」、誰もが主役で輝ける「持続可能なまち」を掲げ、また、コロナ後の問題が顕在化してくる恐れがあり、自粛続きによる子ども達や高齢者に対する様々な問題の対応についても、しっかり取り組んでいくと訴えております。今まで数々の公約を掲げ着実に実行されてきているわけですが、これからの4年間がとても重要になってくると思われます。コロナ前の那須塩原市からコロナ後の那須塩原市へ向けての施策について、今後の展望を伺いたいと思うことから質問いたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 那須塩原駅周辺のまちづくりを今後どのように考え実現していくか伺います。
	(2) 那須塩原市の農業の現状と課題をどのように捉え、今後どのように考えていくか伺います。
	(3) 那須塩原市の観光の現状と課題をどのように捉え、今後どのように考えていくか伺います。
	(4) 那須塩原市のエネルギー施策の現状と課題をどのように捉え、今後どのように展開していくか伺います。
	(5) 地域社会 (公民館) の現状と課題をどのように捉え、今後どのように展開していくか伺います。
	(6) コロナの影響による自粛で、子ども達や高齢者に様々な弊害が起こることが懸念されております。現状と課題をどのように捉え、今後どのように対応していくか伺います。
2. 高齢者福祉事業について	<p>高齢者福祉事業は市の重要な施策であります。令和4年3月定例会議で質問いたしました。令和3年度事務事業棚卸の結果について、すでに公表され、高齢者福祉サービス等の事業について、見直しの方向性が示され答弁を頂きました。「第8期那須塩原市高齢者福祉計画」も最終年度に入っており、次期計画策定に取り組まれ尚且つ、今後迎えようとしている超高齢化社会において、さらに高齢者の自宅生活を支える高齢者福祉事業の重要性は高まっていくと思うことから、進捗状況を確認することも含め、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 事務事業棚卸の公表を受け、着実に見直しを行っていると思いますが、既存事務事業見直しの進捗状況と対応を伺い</p>

